

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービス ていだめふぁ		
○保護者評価実施期間	R 7年4月1日	～	R 7年4月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 23	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	R 7年4月1日	～	R 7年4月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R 7年5月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援目標に基づく療育プログラムの実施	<ul style="list-style-type: none"> 各児童の特性やニーズに応じた個別の支援目標を立て、それに基づいた療育活動を行っています。これにより、児童一人ひとりの発達段階や課題に応じた支援を提供しています。 活動をゲーム感覚で取り入れるなど、児童が楽しみながら取り組める工夫をしています。これにより、自然と意欲的に活動に参加し、成長を促しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りシートを導入し情報の可視化を行います。スタッフ間で内容を共有し支援の効果を評価・改善につなげていきます。 児童の新しい興味関心を見いだせていない可能性があります。今後は、児童の興味関心を引き出す新しい活動の導入を検討します。
2	公園、山登りなどの野外活動 (土曜日や長期休暇)	<ul style="list-style-type: none"> 活動中は主体的な参加を促し、自然の中での体験を通じて、子どもたちの社会性や自己肯定感を育めるよう関わっています。 公共の場でのマナーやルールを学ぶ機会を設け、集団行動の中での協調性や自己表現の力を養っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、地域のイベントやボランティア活動への参加を通じて、より広い社会との関わりを持つ機会を増やしていきます。また、保護者との連携を強化し、家庭でも野外活動の効果を共有できるような取り組みを進めていきます。
3	広々とした庭でのびのび療育	<ul style="list-style-type: none"> 日々の外遊びを通じて体力の向上やストレスの発散に意識的に取り組んでいます。 外遊びを通して瞬発力や反射神経、協調性を養うだけでなく、運動への楽しさや自信を育むことができるよう意識しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 園庭や広場を活用し、複数の運動遊びを組み合わせたサーキット等の取り組みを考えています。例えば、ジャンプ、バランス歩き、くぐり抜け、ボール投げなど、子どもたちが順番に回することで、全身の運動能力をバランスよく育めるような支援を考えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時対応マニュアルの保護者への周知不足	防災訓練や緊急時対応マニュアルの内容が保護者に十分に周知されていない要因として、情報共有の手段や頻度が限定的であり、保護者が緊急時の対応手順や役割分担を十分に理解できていない可能性が考えられます。	定期的開催される保護者会での説明を通じて直接伝えるとともに、入園・入学時の契約手続きの際に重要事項を明記した資料を配布し、さらに施設のホームページにマニュアルや訓練計画を掲載することで、保護者がいつでも情報を確認できる体制を整えます。
2	地域の児童との交流機会の不足	地域の学童クラブや放課後子ども教室との連携が十分に構築されておらず、交流の機会が限定的であることが、地域の児童との関わりが少なにつながっています。また、地域の行事やイベントへの参加が少なく、地域住民との接点が限られていることも要因の一つと考えられます。	地域で開催される行事やイベントに積極的に参加し、地域の児童や保護者との交流の機会を増やします。また、地域の学童クラブや放課後子ども教室、自治会などの連携を強化し、情報交換や共同の活動を検討し小規模な交流活動(例:合同での遊びや学習活動)を企画・実施し、徐々に交流の機会を増やしていきます。
3	保護者への研修案内や保護者会の開催不足	保護者が研修や保護者会に参加している間、児童の見守り体制が確保されておらず、保護者が安心して参加できる環境が整っていないことが課題です。また、保護者が参加しやすい時間帯や曜日の把握が不十分であり、開催日時の設定が保護者の都合に合わない場合があることも要因の一つと考えています。	今後は、保護者へのアンケートや個別の聞き取りを通じて、参加しやすい時間帯や曜日を把握したうえで、多くの保護者が参加できるよう、開催日を多く設定していきます。また、保護者が研修や保護者会に参加している間の児童の見守り体制を整備し、保護者が安心して参加できる環境を整えていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		放課後等デイサービス ていだぬふぁ						公表日	年	月	日	
								利用児童数	23名		回収数	20
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20									
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18			2						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	2		3						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18			2						
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20									
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	1		2						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18			2						
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	2		1						
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19			1						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	2		2						
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	7	1	5					放課後児童クラブや児童館など地域の子供達との交流を検討していきます。	
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1								
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19			1						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	4		5					ペアトレの情報を定期的に発信、案内していきます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19	1							・送迎の際不在が多く申し訳ありません。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1								
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20									
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	3		3							

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1		2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18			2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	4		2		HPにて発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			4		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	4		4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	3	1	9		定期的に行っている訓練の様子を会報等で発信していきたいと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	4		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	2		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	3				
	29	事業所の支援に満足していますか。	20					・いつもありがとうございます。また、山登りの計画を楽しみにしています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ていだぬふぁ				公表日	年 月 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		支援の内容によって利用スペースや活動場所を分けたりと工夫している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		指定基準の人員配置で職員充実に努めている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	安全面を重視し、整備点検箇所をその都度ピックアップし整備を行っている。	定期的に点検を行っていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		安全に心地よく過ごせるように、日々の清掃と環境整備を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		集団活動が難しい場合は必要に応じて部屋を分けて支援を行っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	職員会議を行い、支援内容についての方向性を定め共有している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日頃から積極的にコミュニケーションをとることで保護者の意向を把握し、業務改善につなげている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々のミーティングで意見を出しあい業務改善につなげている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		今後必要に応じて実施を検討する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	外部研修への参加や事業所内研修を行っている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			HPで公表していく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		利用契約時の面談にて日々の児童の様子を丁寧に聞き取り、アセスメントの作成をおこなっている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		スタッフ全員で気づきや意見を出し合い、検討している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画時、計画後に計画書を確認し、スタッフ全員で共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		運営サポートサイトのアセスメントシートを活用する。必要に応じて発達検査の結果をお持ちいただき参考にしている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		ガイドラインに基づき、支援に必要な項目に沿って支援内容を設定している。	児童が様々な社会経験を積めるように、積極的に地域との交流を図っていく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員全員で月間プログラムを立案し、全員で検討、実施を行っている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		子供たちが興味を持ち参加出来るように、静と動のバランスを保ちあらゆる方向から発達を促す事が出来るように取り組んでいる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		段階的に成長できるように個別活動、集団活動両方の視点から支援計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎朝ミーティングを行い、利用児童の最近の様子や課題や支援内容の確認を行い、適切な支援が行えるように打ち合わせを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援の振り返りを行い、職員間で共有するとともに、複数の視点から意見交換をし、より良い支援につながるよう務めている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		個別支援計画にもとずいた視点からその日の様子を記録し、活動記録や共有内容をもとに支援会議を行い、支援の検証・改善に務めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		モニタリングに合わせて、計画の評価・見直しを行うための職員ミーティングを実施し、内容の更新をしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	3	ガイドラインに基づき、「自立支援」「創作活動」「余暇活動」を組み合わせで行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3		主に教育機関との連携がメインとなっているので、必要に応じて様々な機関との体制を整えていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		スクリーンアプリを活用し、必要に応じてその日の様子や課題等を学校側と共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	幼稚園、保育所などを利用していた児童については、モニタリング等を通して情報共有と相互理解に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	移行する際はしっかりと情報提供をおこなっていく。	該当児童がまだいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5	研修を通してアドバイスを受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		今後の課題。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4	児童発達支援管理者が参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		日々の送迎時での申し送りや電話、LINEでのやりとりを通じて、家庭での困り感や事業所での様子を共有し、共通理解を持つように努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		定期的にペアトレの情報提供を行い共有していく。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に丁寧に説明を行い、質問等あればその都度回答する体制を整える。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		子供と保護者の意思を計画書に記載し、ニーズを踏まえて利用計画書を作成している。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		保護者との面談を行い、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		必要に応じて面談の機会を設けたり、保護者の都合や心身の状態に合わせてLINEを活用し相談に応じ、一緒に考え助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		年に2回保護者会を開催し、保護者同志の連携を支援している。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情があった場合は、面談や電話にて迅速かつ適切に対応するよう努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	4	LINEでの連絡を行っている。	定期的に発信していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。画像の掲載に関しては保護者の意向を確認し、同意書を作成している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		今後の課題。事業所の行事に地域住民が参加しやすいように、日頃から積極的に地域行事に参加していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2		マニュアルは作成しているが、周知が出来ないので周知を行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	4	年2回避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		見学时、契約時の際に服薬やアレルギー、持病についての確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		受入れ時にアレルギーの確認を行っている。	医師からの指示書がある児童の利用はないが、児童の健康上の配慮や緊急時の対応・注意点について保護者への聞き取りを行っていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2		研修や訓練に参加していく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3		連携が図れるように周知を徹底していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	実際に起こったケースや想定される事例をもとに、日々のミーティングにて事実確認の共有と対策を協議し再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	管理責任者にて外部研修を受講し、事業所内での研修を行い職員間で共有している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	現在の所、身体拘束は行ってないが、対象となる児童を受け入れる場合は組織的に決定し、事前に保護者や児童に十分説明して了解を得たうえで個別支援計画に記載する。		